

# 「IR&インバウンドセミナー IRについて知り、インバウンドビジネスの未来を考える」講演1要旨

講演：「大阪 IR の実現に向けて」

講師：IR推進局職員

## 1. IR（統合型リゾート）とは？

- IRはカジノだけではなく、国際会議場・展示場といったMICE施設、劇場、テーマパークあるいは博物館、美術館といったエンターテインメント施設、それとホテル、レストラン、ショッピングモールや商業施設が一体となった複合型施設。カジノの高い収益性を活かして、一体的に運営する。さらに、カジノの収益を、納付金・入場料という形で公益に還元する。
- 2010年にシンガポールでは2か所のIRが開業し、開業前に比べて外国人入国者数が1.5倍、観光分野での売上げが約2倍弱と、非常に大きな経済効果をもたらすとともに、2か所合計で2万人を超える雇用も新たに生み出した。

## 2. 大阪の現況

- 1970年代前半は東京のほぼ9割あった大阪の1人当たり県民所得は、2014年の数字では、東京の7割にも満たない状況。また、少子高齢化の進展により、高齢者1人を支える現役世代は、1970年には14人であったのが、2010年は2.88人になり、2040年は1.6人となる。
- 大阪の産業の中心であるものづくり、卸売業、小売業は、非常に大事であるが、いずれも事業所数は30年で半減。こうした状況の中で、今後の経済を支えていく新たな視点が必要で、府市ともに財政事情が厳しく、民間の力を生かした経済活性化策が求められている。

## 3. 大阪に活気をもたらす観光

- 2014年から3年間で来阪外国人旅行者数は3倍、旅行消費額は4倍と大きな伸びを示している。観光分野は非常にすそ野が広く、その経済波及効果も大きい。
- 関西には多くの観光資源があり、非常にポテンシャルが高い地域である。
- ただ、MICEの分野では課題があり、国際会議開催件数では東京、京都に大きく差をつけられている。国際会議・展示会は、最先端の情報が集まり、イノベーションに繋がる場になることから、MICEの活性化が非常に重要だと考えている。しかし、大阪には、世界で主流となっている大規模な会議場、展示場などが一体的に整備されたMICE施設がなく、IR誘致によりMICE機能を充実し、世界有数のMICE都市をめざす。

## 4. IR整備法の概要

- 2018年7月、いわゆるIR整備法が成立。法の目的は、国際競争力の高い、魅力ある滞在型観光を実現するために必要な事項を定め、観光及び地域経済の振興に寄与するというもの。
- 都道府県又は政令指定都市がIRを誘致・整備する場合、国への申請が必要で、申請にあたっては議会の議決が必要、また、IRの上限は3か所といったことが定められている。

- カジノは3年毎に更新される免許制とし、厳格な審査をクリアした事業者のみが運営できることや、1つのIRの中のカジノは1か所に限定され、面積の上限も設けられる。入場回数制限や20歳未満、暴力団員の入場禁止などの規制が設けられる。
- 日本人の入場者に対する入場料やカジノ事業者の納付金の規定も設けられ、自治体と国に納付されることとなっている。
- 今後、カジノ管理委員会が設置され、基本方針が出される。自治体は、それを受けて実施方針を定め、事業者の公募を行い、公募で選定した事業者とともに、区域整備計画を策定する。その後、公聴会等の開催、議会の議決を経て、初めて国へ申請することができる。認定は3か所のみであり、3か所に選ばれて初めてIRを整備することができる。

## 5. 懸念事項対策

- IR誘致により一般に懸念されているのがギャンブル等依存症の問題。しかしカジノのない現在も、ギャンブル等依存症の疑いがある方が全国で約70万人と推計されている。
- シンガポールでは様々な対策を講じ、IR開業前よりも有病率を抑制できており、大阪でも、他のギャンブル等を原因とする依存症も含め抑制することは可能と認識。現在、専門家と府市関係部局の職員による研究会で調査・研究を深めており、世界の先進事例に大阪独自の対策を加えた、発症・進行・再発の各段階に応じた防止・回復のための対策を構築していく。
- また、治安や地域風俗環境の悪化を懸念する声もあるが、シンガポールでは、IR開業により観光客数は大きく増加したものの、犯罪認知率は変化しておらず、必要な対策を講じることで治安・地域風俗環境の維持は可能と認識。自治体、IR事業者、警察が相互に緊密な連携をとって万全の対策を講じる。

## 6. IRを誘致する夢洲

- 大阪港にある390haの広大な人工島であり、関西国際空港からも近く、京都、神戸、奈良、和歌山へもアクセスが良い。この夢洲の北部70haにIRを誘致する。地下鉄中央線を延伸する計画がある。まちづくりが進めば、北ルート of 鉄道も実現されうると期待。
- 地盤の高さは大地震で想定される津波に対し3.7mの余裕があり、また、粘性土を主成分とする浚渫土砂等で埋め立てされており、液状化しにくい。

## 7. 大阪IRの基本コンセプト

- 世界最高水準の成長型IRというコンセプトのもと、独創性に富む国際的エンターテインメント拠点、世界水準の競争力を備えたオールインワン型のMICE拠点を形成するとともに、都心では実現困難な最先端技術の実践・実証の場としても活用し、スマートリゾートを実現する。また、懸念事項に対してもしっかりと対策をとる。これらを基本的な柱としている。
- 「夢洲まちづくり構想」(2017年8月)に示した経済効果としては、運営による経済波及効果を年間6,900億円、雇用創出効果を8.3万人と推計。シンガポールの2か所のIRでは、80~90%を地元で調達しているとのことであり、IRにより大阪の地元企業にもビジネスチャンスがもたらされるとともに、新たなビジネスが生まれるように取り組んでいく。